

令和5年11月29日

東北地方整備局 仙台港湾空港技術調査事務所

## 令和5年度 第1回東北港湾の技術ビジョン検討委員会を開催しました

仙台港湾空港技術調査事務所では、東北港湾を取り巻く情勢や課題の変化を踏まえ、東北港湾ビジョンの実現と地域が抱える技術的問題やニーズへの対応を目指して「東北港湾の技術ビジョン」を策定するため、第1回東北港湾の技術ビジョン検討委員会を11月22日（水）に開催しました。

東北地方の港湾は、東日本大震災からの復興、東北の地方創生、グローバル化の進展への対応など広域的視点からの取組みを支えるため、国内外の海上輸送の結節点という港湾の特性を十分に発揮できるように港湾における技術課題の克服に向けた取組みが求められております。

東北港湾を取り巻く情勢や課題の変化を踏まえ、東北港湾ビジョンの実現と地域が抱える技術的問題やニーズへの対応を目指して「東北港湾の技術ビジョン」を策定するため、東北港湾の技術ビジョン検討委員会を設置し、意見交換を行っていくことにいたしました。

令和5年度第1回東北港湾の技術ビジョン検討委員会の開催概要は下記のとおりです。

## 記

1. 日 時：令和5年11月22日（水）15：00～17：00
2. 場 所：国土交通省 東北地方整備局 港湾空港部 AB会議室  
（仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎B棟9階）
3. 議事内容：別紙1のとおり
4. 構 成 員：別紙2のとおり

〔発表記者会〕宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

## 【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 仙台港湾空港技術調査事務所

副所長：家子 清吉 調査課長：工藤 裕信

TEL：022-791-2116（直通） E-Mail：[pa.thr-i-gicho@mlit.go.jp](mailto:pa.thr-i-gicho@mlit.go.jp)  
（※●を@に変えてください。）

## 令和5年度 第1回東北港湾の技術ビジョン検討委員会

日時：令和5年11月22日（水）15時00分～17時00分

場所：仙台合同庁舎 B棟9階 港湾空港部 A・B会議室

### 議事次第

1. 開 会
2. 挨拶
3. 出席者紹介
4. 東北港湾の技術ビジョン検討委員会設置要綱（案）について
5. 委員長選出
6. 議 事
  - （1）東北港湾の技術ビジョン、策定スケジュール
  - （2）東北港湾の技術ビジョンが目指すべき方向性について
    - ①技術ビジョンの理念
    - ②東北港湾が抱える技術的課題
    - ③東北港湾の技術目標
7. 意見交換
8. 閉 会

## 令和5年度 第1回東北港湾の技術ビジョン検討委員会 名簿

氏名	現職
南 将人	八戸工業高等専門学校 環境都市・建築デザインコース 教授
小笠原 敏記	岩手大学 理工学部 システム創成工学科 教授
泊 尚志	東北工業大学 工学部 都市マネジメント学科 准教授
浜岡 秀勝	秋田大学 理工学部システムデザイン工学科 教授
砂田 洋志	山形大学 人文社会科学部 経済・マネジメントコース 教授
岩城 一郎	日本大学 工学部 土木工学科 教授
邊見 充	東北地方整備局 港湾空港部 港湾空港企画官
大亀 寛	東北地方整備局 港湾空港部 計画企画官
渡部 秀幸	東北地方整備局 港湾空港部 事業計画官
福田 良介	東北地方整備局 港湾空港部 技術企画官
八角 彰博	東北地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 課長
佐々木 均	仙台港湾空港技術調査事務所 所長

(順不同、敬称略)

# 議事概要

## 令和5年度第1回東北港湾の技術ビジョン検討委員会

日時：令和5年度11月22日（水）15:00～17:00

場所：仙台合同庁舎B棟9階 港湾空港部 AB 会議室

### 【議事概要】

- ・「東北港湾の技術ビジョン検討委員会要綱（案）」が諮られ、委員の了承を得た。
- ・要綱に基づき、委員長の選出が行われ、岩手大学の小笠原教授が委員長に選出された。
- ・来年度の「東北港湾の技術ビジョン（仮）」策定に向けて、本年度中に中間案、来年度に最終案をまとめる実施方針案について事務局より説明。
- ・事務局より資料の説明が行われた後、意見交換を行った。

### <議 事>

- （1）東北港湾の技術ビジョン、策定スケジュールについて
- （2）東北港湾ビジョンが目指すべき方向性について
  - ①技術ビジョンの理念
  - ②東北港湾が抱える技術的課題
  - ③東北港湾の技術目標

### 【委員からの主な意見】

- ・技術ビジョンの理念の設定はおおむね問題ない。
- ・理念のイメージ図は、技術ビジョンと東北港湾ビジョン、地域の港湾が抱える問題・ニーズ、東北港湾が抱える技術的課題との関係性について、本来の意図が伝わるよう見せ方を工夫してほしい。
- ・理念に沿った技術的課題の抽出方法になっているか再確認すること。特に、地域の港湾が抱える問題・ニーズに関して、アンケート回答数も踏まえて地域課題の特性が整理できているか確認すべき。
- ・地域や業種でアンケート回答数が異なる状況での整理となるため、重み付けした加算方式ではなく平均値で評価した方が実態を表現できると思われる。
- ・前回技術ビジョンの検証も踏まえたうえで、今回の理念や技術目標設定に至る経緯を説明すると分かりやすい。
- ・東北ならではの地域特性や、前回技術ビジョンの検証等を踏まえ技術目標を整理するとよい。
- ・「技術」の意味合いは多様であり、本検討委員会での「技術」をどう捉えるか共通認識を持って議論した方がよい。
- ・解決すべき課題を長期的、中期的、短期的に分けて対応する必要がある、優先順位を検討した方がよい。

以上